

2019年9月吉日

学 校 長 殿  
英 語 科 担 当 者 殿  
E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 員 各 位

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 長 本 多 敏 幸  
第 2 5 回 研 究 大 会 実 行 委 員 長 高 瀬 ひとみ

## E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 5 回 研 究 大 会 ( 第 二 次 案 内 )

爽秋の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 5 回 研 究 大 会 を、下 記 の 要 領 で 開 催 す る 運 び と な り ま し た 。 毎 年、多 くの 現 職 教 員 の 方 々 に 加 え 英 語 教 育 を 志 す 学 生 の 方 々 も 熱 心 に ご 参 加 い た だ き、熱 気 あ ふ れ る 大 会 と な っ て お り ま す。こ れ も ひ と え に 皆 様 の ご 協 力 と ご 支 援 の 賜 と 感 謝 致 し て お り ま す。

昨 今、小 学 校 か ら 大 学 ま で、英 語 教 育 を め ぐ り 様 々 な 動 き が あ り ま す。本 学 会 で は、こ の よ う な 動 向 も ふ ま え つ つ、よ り よ い 英 語 教 育 を 目 指 し て、各 研 究 部 会 で 研 究 を 進 め て 参 り ま し た。今 年 度 も、拓 殖 大 学 を 会 場 に、参 加 者 の 皆 様 と と も に 視 野 を 広 げ、英 語 教 育 を 見 つ め 直 す 一 日 に し た い と 願 っ て お り ま す。

英 語 教 育 に 関 わ る す べ て の 先 生 方、教 員 志 望 の 学 生 の 皆 さ ん、奮 っ て ご 参 加 下 さ い。

### 記

1. 期 日： 2019年11月3日（祝日） 9:20～17:20
2. 会 場： 拓殖大学文京キャンパス（東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩3分）  
C館5階を中心として（受付はB館1F学生ホール）
3. 主 催： E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会
4. 参加方法： ・ 事前の参加申し込みは不要です。参加ご希望の方は、当日会場で受付をお願いします。受付は一日を通して行っています。  
・ 当日に入会（年会費5,000円）の手続きをなさった方は、会員として無料で参加できます。
5. 参加費（資料代）： 会員 無料 学生 1,000円 一般 3,000円
6. 大会プログラム（予定。詳細は変更になる可能性があります）：

9:20	受付開始	12:30～13:20	研究部会発表Ⅰ
9:50～10:00	開会行事	13:30～14:20	研究部会発表Ⅱ
10:00～11:30	講演	14:30～15:20	研究部会発表Ⅲ
11:30～11:45	会員総会	15:35～17:10	ビデオによる公開授業（一般会場）
11:30～12:30	昼食・協賛企業展示	15:35～17:20	同（学生会場）
		17:10～17:20	閉会行事
		17:30～19:30	懇親会（学生食堂）

## 7. 内 容:

### <午前の部>

#### ◆講演

タイトル: 「小中高 新学習指導要領 こう準備しよう」(10:00~11:30): C501

講 師: 金森 強 (文教大学)

講演司会: 豊嶋 正貴 (文教大学附属中学校・高等学校)

新学習指導要領の実施に向けて、小中高それぞれの教室で育てるべき力とは何か、英語指導の在り方を理解します。

### <午後の部>

#### ◆研究部会発表 I (12:30~13:20)

実践研究部会: C501

「中・高連携を考えたコミュニケーション活動 一質問文の指導一」

「話すこと [やり取り]」を成立させるためには質問を適切に行えることが不可欠です。しかし、一般的に質問文を正しく作る(言う)ことには課題があると部会では考えました。そこで、質問文に関する各部員の指導や活動の実践を検討してきました。そのいくつかを紹介します。

発表者: 木村豪 (國學院大學栃木中学高等学校) 本多敏幸 (千代田区立九段中等教育学校)  
高瀬ひとみ (品川区立鈴ヶ森中学校) 八木孝之 (都立新宿山吹高等学校)  
鈴木千貴 (横浜市立桜丘高等学校)

ライティング研究部会: C401

「自律的な書き手を育てるための教師の支援とは ~Pre-writing 活動に焦点を当てて~」

ライティングのプロセスは、大まかに、Pre-writing、While-writing、Post-writing といった3段階に分けられますが、自律的な書き手を育成するための支援として、各段階で生徒が使用可能な self-checklist を作成することの意義は高いです。一方、そのようなリストを独力で有意義に使用できるようになるためには、協働的なライティングの手法が一つの有効な手段ですが、その前提となる教師の働きかけも不可欠です。生徒が見通しをもって取り組めるように、プロンプト(指示文)の分析など、Pre-writing の段階から、教師がどんな支援をしていくことで、生徒が主体的に学びに向かうことができるかを考えたいと思います。

発表者: 工藤洋路 (玉川大学) 長沼君主 (東海大学)  
和田朋子 (工学院大学) 松岡まどか (横浜雙葉中学高等学校)

#### ◆研究部会発表 II (13:30~14:20)

評価研究部会: C501

「日常のアウトプット活動評価ー学習段階に応じたスケールとは」

私たち評価研究部会では、話すことのパフォーマンステストを日常的に教室で行うにはどうすればよいか、また具体的にどう評価するべきかについて研究を始めて3年目になります。7月の奇数月例会での中間発表では、部員の実践例を視聴してオーディエンスの皆さんにも評価体験をしてもらいました。その分析結果も大会でご報告する予定です。私たちの提案するスケールはもちろん完成形ではありませんが、日常の授業と評価とはどうあるべきかについて考えるプロセスを皆さんと共有できたらと考えています。

発表者: 中村隆 (明治学院高等学校他非常勤) 岩瀬俊介 (学法石川高等学校)

### 小学校英語教育研究部会：C401

#### 「小学校英語と中学校英語をつなぐスモールトークの可能性」

小学校高学年新教材では2時間に1回程度帯活動としてスモールトークを行うことが推奨されています。5年生では指導者との間で、6年生ではペアでのやり取りで、身近なテーマに基づいて即興的に対話を続けます。系統的な文法指導がなされない中、既習表現を繰り返し用いる機会を設けることで、いかに使用を前提とした学びを促し、中学英語へ向けて学びに向かう力が養われるかを考えます。

発表者：長沼君主（東海大学） 黒木 愛（大田区立洗足池小学校）

羽田あずさ（横須賀市立田戸小学校） 幡井理恵（昭和女子大学附属昭和小学校）

### 音声指導研究部会：C405

#### 「Classroom English を極める！音読学」

授業中に教師が繰り返し発し、児童・生徒の記憶に残る「クラスルーム・イングリッシュ」。学習者の発音と音声表現に多大な影響を与えるこのインプットの質を高めるために、教師は何に気をつけてどのように研鑽を積みばよいか、当部会の取り組んでいる「音読学」の視点から考えていきます。研究部員の授業実践や実演を交え、明日の授業にひと味違う発音で臨みたくなる *inspiring* な発表を目指します。特に小学生～中学1年の英語授業に関心のある方は、ぜひご参加ください。

発表者：田中敦英（桐朋中・高等学校） 松津英恵（東京学芸大学附属竹早中学校）

### ◆研究部会発表Ⅲ(14:30～15:20)

#### リーディング研究部会：C501

#### 『教師の推論発問を起点とする学習者の思考力・分析力・メタ認知力の高度な育成を目指す読解指導』

本発表では、教師の推論発問を起点とし、Deep and Active Learning に基づく読解活動に取り組ませることを通じて、学習者の主体的な内容理解を深化・発展させることを目指す指導法を扱います。具体的な指導展開例として、(1)文学作品を題材とした読解における Interaction 活動と(2)検定教科書とiPadを活用しながら、While-reading activity と Post-reading activity を相互に関連づける Interaction 活動、Output 活動を提案します。

発表者：寺内正典（法政大学） 渡邊聡大（海城高校） 平川新（東京大学大学院）

### オーラルアプローチ研究部会：C401

#### 「授業パッケージ・高等学校・導入編」

「英語で授業を行う」ための基本的な技術である「オーラルイントロダクション」と「パターンプラクティス」について研究しています。現在は導入から復習、そして言語活動まで、様々な先生方が参考にできる「授業パッケージ」の作成を行っています。今年度は高等学校の授業の導入にあたる、オーラルイントロダクションと本文理解を促す活動を提案します。授業の実演を行い、解説をしながら、部会でどのように話し合ってきたのか、その過程もお伝えすることで、他の学年、文法事項、題材にも応用が可能と考えています。

発表者：宮崎太樹（八王子市立ひよどり山中学校） 牧野彰宏（世田谷区立緑丘中学校）

荒井康耀（神奈川県立弥栄高等学校）

語彙指導研究部会：C405

「Modified Repetition ～語彙の定着活動としての記憶への効果の検証～

新出単語 24 語を教え、その定着活動として」

modified repetition というちょっとユニークな語彙の定着活動があります。語彙習得理論上は、記憶への効果が高いと推察されますが、実際のクラスルームではどうでしょうか。新出語 24 語を教え、語彙の定着活動として a) modified repetition を行ったクラス、b) advanced modified repetition を行ったクラス、c) ただ単に単語を 10 回ずつ書いたグループとでは、どのグループが一番一週間後のポストテストで語彙を記憶していたかを、活動の紹介と授業実演を交えながら報告します。シンプルなりサーチデザインながら、非常に興味深い結果を得られたので、会場みなさんとシェアしたいと考えています。

発表者：岡田順子（元埼玉県立朝霞高等学校） 宮島盛明（新潟県立三条東高等学校）

◆ビデオによる公開授業（一般会場：C501 15:35～17:10 / 学生会場：C401 15:35～17:20）

「コミュニケーションⅢ 生徒に思考させ、即興的かつ質の高い発話ができることを目指した授業」

授業者：本多 敏幸（千代田区立九段中等教育学校）

6 年生（高校 3 年生）の授業をご覧ください。6 年間、教科書の本文を利用した「話すこと」の言語活動を継続して行わせたことで、生徒の英語力をかなり伸ばすことができました。高校の課程において単元や授業の構成を工夫し、改良してきた指導方法を皆さんと共有したいと思います。

【一般会場】 C501

解説者兼司会進行：津久井貴之（お茶の水女子大学附属高等学校）

【学生会場】 C401

解説者兼司会進行：工藤洋路（玉川大学） 豊嶋正貴（文教大学付属中学校・高等学校）

8. 昼食：当日は休日につき学生食堂は利用できません。お手数ですが昼食は各自でご用意くださいますようお願いいたします。

9. 協賛企業（五十音順）

株式会社 アルク

株式会社 いいずな書店

学校図書 株式会社

株式会社 桐原書店

株式会社 三省堂

株式会社 大修館書店

株式会社 ネリーズ

ベネッセ教育総合研究所

株式会社 LACOMS

（2019 年 9 月 16 日現在）

・当日は協賛企業による資料の配布、展示販売などがございます。ぜひご利用下さい。

10. 懇親会 親睦、情報交換の場として懇親会がございました。会員でない方もご参加いただけます。当日受付にてお申し込み下さい。

会場：拓殖大学 B 館地下 学生食堂

時間：17:30～19:30 予定

会費：3,500 円

11. その他 台風等の不測の事態による大会の中止や開始時刻の繰り下げを行う場合は、大会当日朝 8 時に本学会 HP に掲載いたします。

ELEC 同友会英語教育学会ホームページ <http://elecfriends.com/>

12. 問い合わせ先 E-mail: elec\_taikai2019@elecfriends.com 高瀬 ひとみ（タカセ ヒトミ）